

2017衆院選「市民が決める」～安倍政権を終わらせる大チャンス!総決起しよう

道労連NEWS

【2017衆院選ニュース】
発行日：2017.10.06



発行：北海道労働組合総連合 〒003-0805 札幌市白石区菊水5条1丁目4-5 Tel: 011-815-8181

市民が声あげ政治を変える 熱気に満ちたスピーチ 寒風も安倍政権も吹き飛ばす

みんなのための政治を、取り戻そう。1006★札幌駅前アクション



「安倍政権を終わらせよう」「市民が政治を変えよう」。10月6日、JR札幌駅前南口広場では、寒風を吹き飛ばす熱気と気迫に満ちたスピーチが相次ぎました。

戦争させない市民の風・北海道と道労連が呼びかけた「みんなのための政治を、取り戻そう。1006★札幌駅前アクション」には100名が参加。仕事帰りに足を止め、スピーチに聞き入り、拍手を送る人など、市民と立憲野党の共闘で政治を変えたいとの思いが溢れるアクションとなりました。

戦争させない市民の風・北海道の川原茂雄共同代表から、12の小選挙区すべてで統一候補が実現したことが報告されると大きな拍手と歓声があがりました。様々な団体、職業の方がスピーチした後、それぞれの政党が市民と立憲野党の共闘に対する大きな期待をしっかりと受け止め、安倍政権を退場させる決意を込めてスピーチしました。

アクションの締めくくりとして、参加者でプラカードを掲げて撮影。「みんなのための政治を取り戻そう!」のコールが札幌の夜空に響き渡りました。

10月15日には、「平和にYES! 改憲にNO! 市民が政治を変える! 札幌アクション」が札幌大通公園西6丁目で13時から行われます。市民、立憲野党からのスピーチとライブ、デモ行進など、市民が選挙を楽しみながら、市民が政治を変えていく、決めていくためのアクションです。職場から、地域から、みんなで参加しよう!

【みなさんのスピーチの一部を紹介】

「この北海道で、市民と野党の共闘が実現しました。12の小選挙区すべてで統一候補が実現できたことは画期的です。この2週間、野党共闘を分断しようという動きもあったが、また戻すことができました。それは、この2年間、立憲主義と民主主義を守るたたかいを積み上げてきたこと、市民と野党の共闘によって信頼と絆を深めてきたことが大きな力となった。市民と野党共闘の統一候補で勝利して、安倍政権を終わらせよう!」

(戦争させない市民の風・北海道 共同代表 川原 茂雄 さん)



「今度の選挙は安倍改憲勢力と、市民と立憲野党の共闘によるたたかい。安倍自民党とその補完勢力を絶対に勝たせない。小選挙区すべてで市民と立憲野党が勝利する。そのたたかいを北海道から巻き起こしましょう」

(道労連議長 黒澤 幸一 さん)

「私には16歳の息子がいます。おそらく、次の選挙では投票権を得ていると思います。そういう子どもたちに対し、いま私たち大人が示すことが大切。誰がやっても一緒、どうせ変わらない、そういう大人たちの姿を見て育った子どもたちが、果たして政治に関心を持てるようになるのでしょうか。その積み重ねが今の政治状況をつくり出してきたのではないのでしょうか。このまま自民党のような独裁政治を許してしまっては子どもたちに申し訳ない。まだ選挙権がなく選ぶ権利のない子どもたちの未来は、私たち大人がしっかり選択していかなければなりません。安倍暴走政治を選挙というまっとうな手段で、私たちの手で終わらせましょう」

(安保関連法に反対するママの会@北海道 中上 範子 さん)



「先日、私の息子が通っている幼稚園でミサイルに対する避難訓練があった。仮にいくら避難しても、原発にミサイルを落とされたらどうしようもない。安倍政権は、本当に国民の安全を守るというのならJアラートを鳴らす前に、まっさきに原発を止めるべきだ。いままでの政治は私たちのための政治などではなかった。しかし、10月22日、それを変えるチャンスがやって来た。お友達のため、大企業のため、一部の人のための政治じゃなく、私たち市民のための政治を取り戻すチャンスです。みんなのための政治を市民と野党の共闘で実現しましょう」

(弁護士 神保 大地 さん)



「消費税を社会保障に充てると言ってきたけど、実際には精神科病棟の縮小や介護など福祉での「自助」押し付けなど、切り捨てられてきた。安倍さんは言っていることと、やっていること、あまりにも違いませんか。安保法制に賛成し、改憲をすすめる希望の党にも、私は希望を託せません。市民と野党の共闘にこそ、政治を変える力があると思います。北から風を起こしましょう」

(作業療法士 富田 昌美 さん)

「中学生の頃、祖父に戦争体験を聞きました。朝鮮半島に教員として勤務した経験した日々の暮らしの中で、『同じ人間だ』ということを実感したと。戦争で祖父は朝鮮に赴き、その時は『それが正しいことだ』と思ったそうです。後々、侵略に加担したことを涙ながらに悔いていました。その後、二度とその話はしなかった。それを聞いて私は、戦争というものは『それが正しい』と信じて始まっていくものなんだと思いました。最初にミサイルが撃ち込まれるのは基地かもしれない。しかし、その後、住民のところにも打ち込まれていく。イラクやアフガンでも多くの子どもたちが犠牲になっている。そんなことに加担する集団的自衛権の行使は絶対にダメです。憎しみの連鎖しか生み出しません。憲法9条こそ日本の宝です。理想論だと言われようが、9条こそ宝です。戦争法廃止、憲法9条守る、このことを争点に、自分たちの1票を投じましょう」

(北海道高教組・高校教諭 菱木 淳一 さん)



「私はいま、ワクワクしています。5区補選での共闘が全国での共闘を励まし、今回の統一候補へとつながってきたと思います。3区での野党共闘を求める活動にも参加してきました。一時、もう共闘は無理なのかなって思う場面もありましたが、市民の声を受けて共闘が実現されたことは本当に嬉しい。安倍さんは、いま選挙やれば勝てるんじゃないかって考えて解散したと思います。でも、市民をなめる！国民をなめるな！って言いたい。政治家のための、政治家による政治は、もうこれで終わりにしましょう。私は、今回の市民と野党の共闘が、日本の民主主義を守る1歩になると信じています。力をあわせてがんばりましょう」

(ユニキタ 由比 ゆうゆ さん)



「保育士にアンケートを行った。子どもたちに接する時間、ゆとりが持てない。産休代替の確保もままならないなど、たくさんの声が寄せられました。7割の人が「仕事を止めたい」と思っていると答えている。でも、9割の人が「やりがいはある」と答えている。やりがいはあるのに、続けられない。人手不足と賃金・労働条件が改善させないからです。処遇改善も『格差』を生み出すだけで改善にはつながらない。子どもたちが大切にされる政治が必要であり、そのためには保育士が大切にされることが必要です。平和にYES! 改憲にNO! の声をあげて政治を変えましょう」

(保育士 福岡 厚志 さん)

「市民の風みなさん、共産党、社民党のみなさん、民進党の仲間たちと共謀罪に反対する共同の活動をずっと続けてきました。STOP! 安倍政治を掲げて共闘してきました。これからは、立憲民主党を支持していきます。安倍政治はたくさんの格差を生み出してきました。賃金の格差、男女の格差、教育の格差、その格差の壁はどんどん厚く、高くなっています。格差と貧困の問題。これは政治の責任です。何よりも、安保法制の廃止、憲法9条を守るために、市民と野党でしっかり手をつないで、この選挙を勝ち抜いて、安倍さんに退場してもらいましょう」

(民進党北海道・札幌市議会議員 村上 ゆうこ さん)



「先ほど、小選挙区3区候補をおりる決断をして、荒井聡さんと調印式を行ってきました。候補者をおりるということは大変なことであり心情的にも複雑な思いがあります。しかし、それでも大義のために決断をしました。安倍政権を退場させることが何よりも重要だからです。だからこそ、勝たなければならないと思っています。スポーツではルールを破れば



審判が退場を命じます。今度の選挙で、憲法に違反し、国会審議を蔑ろにし、政治を私物化する安倍政権を退場させましょう。国民の中には色々な意見があります。その中でも、市民と野党の共闘で積み上げてきた一致点こそが、より多くの人が手をつなげる一致点です。安倍政権のように国民の反対の

声押し切って強行に強行を重ねる政治か、それとも一人でも多くの人との一致点を大切にする市民と野党の共闘か、ここに今度の選挙の最大の争点があります。市民と野党の共闘をさらに育て、発展させて、安倍政権とその補完勢力を突き崩しましょう！」

(日本共産党北海道委員会・

比例区予定候補 川部 竜二 さん)



司会 伊藤 ナシカ さん
(民青同盟北海道委員会)